

## 活動報告

団体名	社会福祉法人 伊那市社会福祉協議会
活動名	令和元年台風 19 号・長野市北部被災地支援ボランティアバスパック事業
活動期間	2019/10/30 ~ 2019/11/30
活動の成果	<p>上伊那郡内の住民を対象に参加者を募集し、多くのボランティアの皆さんの力を被災地へ届けることができた。最年長は 79 歳の方から最年少は 16 歳の高校生まで。半数以上の方が災害ボランティア初体験で、男性 6 割・女性 4 割という参加状況だった。最多参加者は 7 回中 5 回という方もいらした。今回の活動先は、災害によりあまりにも大量の土砂が流入したことにより、発災後すぐにボランティアの受け入れができず、その後ようやく支援の手が入るようになった長野市穂保地区・津野地区であった。千曲川の決壊した堤防により近いこの地区は、浸水した濁流の跡が住宅の壁などにはっきりと残り、敷地内には大量の泥が入り込み、特産のりんごの畑の中にはひっくり返っている軽トラックや漂流物が山のようにあり、災害の甚大さを物語る光景を数多く目にした。皆さんそれぞれの想いをもって参加し活動してくださり、少なからず現地の復旧に貢献していただくことができたと思う。被災者・被災地域の皆さんからも多くの感謝の言葉をいただいた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>多くのマンパワーと継続的な支援が必要な災害支援ボランティアは、“無償の力”と“限られた財源”だけでは成し得ないものです。今回本会が実施したボランティアバスパックは、個人ではハードルが高く参加が難しかった地元のボランティアの方々の力を、当方で用意したバスを使用することにより移動の負担を軽減し、地域の仲間が団体で出向くことにより活動への精神的負担も軽減することができ、結果として延べ 177 名という大変多くの熱い思いを持ったボランティアの皆さんの力を被災地に届けることができました。そしてそのボランティアの皆さんの力は、きっと被災地の住民の皆さんの復旧・復興の力になったことと思います。このことができましたのも、寄付者の皆様からの尊いお力添えがあったことによるものと、心より感謝しております。皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。</p>

(活動のようす)

